

共に生きる

東日本大震災現地支援ニュース No. 2

2011年12月28日 大会執事活動委員会

皆様、各教会で祝福されたクリスマス礼拝を捧げ、また新年の礼拝に向けて備えていらっしゃると思います。今回はまず、前回の支援ニュースでご協力をお願い致しました、2つの活動について、ご報告いたします。

* 東仙台教会クリスマス会等の活動報告、祈りの課題



前回の支援ニュースでもお伝えし、全国の皆様のお祈りに覚えていただきました12月24日の野蒜小学校でのクリスマス会(のびるクリスマス会)は、171名(大人61、子供66、中高生11、ボランティア16、東仙台教会会員11、ゲスト6)の参加者を得、大変祝福された会となりました、というご報告をいただきました。色々な場所で各ボランティア団体がクリスマス会を開催した中、これだけの地域の方々が参加してくださいましたのは、これまでの活動を通して地域の方々との深い絆が生まれていることの何よりの証しであると思います。前回の支援ニュースの呼びかけに伝えてくださり、全国の皆様から35件、446個ものクリスマスプレゼントが寄せられました。プレゼントは全て参加者の皆様に届きました。心から感謝いたします。当日は吉田隆先生がクリスマスのメッセージをしてくださいました。参加者の皆様の心に届けられたクリスマスのメッセージが、これからもお一人お一人の心を照らし、さらに主のご計画が進んでゆきますように、お祈りください。クリスマスプレゼントをお寄せくださいました方々は以下の通りです。感謝しつつご報告いたします。(順不同・敬称略)



尹エステル(園田)、立石圭子(横浜中央)、池田羊子(東京恩寵)、続木俊介(奈良)、熊田家(上福岡)、小菅和子、三浦芳子&日笠典子(板宿)、江古田教会CS、神戸長田教会、酒井敬子(江古田)、佐野結子&直史(東京恩寵)、横浜中央教会婦人会、岡山西伝道所有志、神港執事会、日本キリスト教会小平教会、新井ちぎり(横浜中央)、南越谷コイノニア教会、厚木教会、宮坂和子(東京恩寵)、徳島教会、中家盾(日本キリスト教会栃木教会)、津島教会、千城台教会、滋賀摂理伝道所、新浦安教会、中田小羊(岡山西)、新居浜伝道所、吉村遼太郎(春日井)、藤田紀恵、丸亀伝道所、斎藤みほ(東京恩寵)、立石彰(東仙台)、宮良杏子、家山節子(南浦和)、ラウワ憲子(日本長老教会さがみのキリスト教会)、サマリタンズ・パース

東名地区で2年間お借りすることが出来ました家は「サクラハウス」と名付けられたそうです。その「サクラハウス」で「にじいろ楽習会」という地域の子供たちを対象とした放課後の学習支援活動が12月5日から始まりました。毎週(月)(水)(金)の午後2時半から6時まで、宿題を一緒にしたり、一緒に遊んだり、約30名の地域の子供たちと共に楽しい時を過ごしています、とのことでした。この活動は現在、2013年3月まで行う予定ですが、地域の方々からは「2013年以降も継続して欲しい」との要望もあり、「英語も教えて欲しい」等のリ

クエストもあるとのこと。現在、元小学校の先生をしていらっしゃる姉妹を中心に活動が行われていますが、必要なスタッフがさらに与えられますようお願いください。



にじいろ楽習会の子供たちとスタッフ



宿題をしてから遊びます！

(*児童の保護者から許可された写真を掲載しています)

* 手編みの靴下の贈り物ご報告

前回の支援ニュースにてご協力をお願いいたしました、手編みの靴下の贈り物の報告をさせていただきます。

最終的に下記の教会、姉妹方より、靴下226足、それ以外（レッグウォーマー、マフラー、髪飾りなど）78点のご協力をいただきました。それぞれに手書きのカードを添えていただき、気持ちのこもったものとなりました。皆様のお気持ちを、しっかりと仮設住宅の方々にお届けしたいと願っております。戻りましたら、また詳細をご報告させていただきたいと思います。皆様の尊い御奉仕とお祈りに心より感謝致します。

【中部中会】吉原富士見伝道所 関教会 太田伝道所 名古屋教会 浜松伝道所 犬山教会
岐阜加納教会 四日市教会 那加教会 高蔵寺教会 名古屋岩の上传道所 堀瑛子姉

【西部中会】神港教会 神戸長田教会

【東部中会】大久保史子姉 加藤尚恵姉 (順不同)

名古屋岩の上传道所ディアコニア支援室 岡本真理

[奉仕者の声]

私にできる小さなお手伝いとして、手編みの靴下をつくらせていただきました。3.11の震災以来、胸を痛めておりました。支援ニュースを拝見し、私にもできる奉仕があると知って、嬉しく思い参加させていただきました。ニュース、ドキュメンタリー映像などに接して東北の方々のふるさとを愛する気持ち、苦難にぐっと耐えながらくじけない姿に、私たちが生きるエネルギーや勇気をいただきました。きびしい寒さから守られますようにと祈りつつ、感謝して編ませていただきました。(西部中会 K.S. 姉)



日本キリスト改革派教会 各教会・伝道所の皆様

東日本大震災 第二期募金のお願い

2011.12 月 大会執事活動委員会

1. **感謝**：第一期募金に際しては、多くの献金をお寄せいただき、ありがとうございました。
2. **お願い**：ご承知の通り、今後は大会執事活動委員会が中心になって、6,000 万円を目標に第二期募金を行うこととなりました。第一期募金終了後に献げられた 3,500 万円と合わせて、12 月 26 日現在で 3,800 万円となりました。目標まであと 2,200 万円です。この募金の支出計画は以下の通りですので、第一期募金同様、御加禱とご協力よろしくお願い申し上げます。締め切りは 2012 年 7 月末日です。
3. **目的**：「支援募金の理念」の「中長期支援」に基づく「東北中会復興計画」およびボランティア活動の推進他。
4. **支出計画**：総額 6,000 万円（下記の各項目の金額は、現時点での目安です）
 - (1) 会堂復旧費が必要です。(約 2,000 万円)

一期募金でもある程度の資金の備えが出来ましたが、石巻伝道所、北中山伝道所、仙台教会が取り組む会堂の本格的復旧工事はこれからです。その取り組み支援するための募金をします。現在のところの見積もりは

石 巻：町の復興計画を勘案しつつ第一期募金に追加（未定）

北中山：あと 750 万円

仙 台：第一期募金を超える額（未定）
 - (2) 復興のための東北中会活動費が必要です。(約 500 万円)

東北中会の交わりと教育の強化のため（5 年分約 300 万円）、
東北中会の 2 年分の大会出席費・会議費（2 年分約 100 万円）
大会執事活動委員会の関連活動費（約 100 万円）
他に伝道者派遣費・伝道資金積み立て
 - (3) 放射能対策費：除染作業・緊急避難措置対応費が必要です。(約 100 万円)
 - (4) 執事的奉仕による宣教費が必要です。(総額約 3,400 万円)

「キリスト教伝道の実践にあたっては、み言葉のみによるのみでなく、愛の行ないにもよるべきことが、主イエス・キリストのみ教えと模範である。」(『20 周年宣言』)との言葉が今、まさしく実践されつつあります。特に野蒜・東名・亘理・山元地区の支援の働きは、現地の被災者の方々に広く受け入れられつつあります。

 - ・ 協力伝道者派遣費（約 14,00 万円）
 - ・ ボランティア活動支援（約 2,000 万円）
 - ① 野蒜・東名地区＝東仙台教会のボランティア活動で得られた信頼から、地元の家主さんからセンターの可能性のある大きな建物を、改装許可つきで 2 年間借用できました。この建物を有効に活用しながら、被災者を支援するため、改装費、人件費が必要です。
 - ② 亘理・山元地区＝ここでも、すでに OPC 名義で入手した建物を拠点（サポートセンター）として、亘理・名古屋岩の上伝道所の支援活動とも連携しながら、支援するため、改装費・支援活動費・人件費が必要です。

5. 募金窓口

【国内】 ゆうちょ銀行 「大会執事活動委員会」宛 振替 00210-4-65619
埼玉りそな銀行 「(宗) 日本キリスト改革派教会」宛
ふじみ野支店 (674) 普通 0614356

【海外】 Account Name : NOBORU NOMURA

Beneficiary Address : 1-22-8 Uenosaka, Toyonakashi, Osakafu, JAPAN

Multimoney Account Number : 92575001

Account Type : SAVINGS

Bank Name : CITIBANK JAPAN LIMITED

Bank Address : 2-3-14 Higashi-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo

Bank Address-Country Name : JAPAN

SWIFT BIC Code : CITIJPJT

【備考】 通信欄に必ず「東日本大震災第二期募金」と明記してください。

通信欄が使えない場合、

海外募金に関しては芦田高之 (外国教会関係委員) takarcej@yahoo.co.jp

国内募金に関しては、木村恭子 smile-kyoko@live.jp

まで、その旨ご連絡ください。

領収書は原則として発行しませんが、必要な場合はメールでご連絡ください。

<今月の御言葉>

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

(マタイによる福音書 11 : 28-30)

2011年が終わろうとしています。今年は辛い年でした。被災された方々をはじめ、ボランティアを続けてこられた方々、各地で祈り献げ続けた方々も含めて多くの方が、今、心と体に重く疲れを覚えていらっしゃることでしょう。

イエス様はそんな私たちに「わたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」と招いておられます。イエス様のもとで、イエス様を通して神を見上げ、イエス様の柔和さと謙遜に満ちた歩みを学び、イエス様のくびきを負うようにと命じておられます。そのように生きることで「あなた方は安らぎを得られる」と約束してくださっています。

私たちは自分の力だけで困難に向かい続けるなら、次第に消耗し疲れ果ててしまうことでしょう。ですがイエス様と共に、イエス様に学びながら、与えられた使命に立ち向かうなら、たとえそこに困難があったとしても、神の愛の配慮の中で、心も体も働きも豊かに支えられます。

今年たくさんの働きや心労の中で疲れを覚えておられる方は、この年末年始、心と体を静めて休む時をお持ちください。そして2012年のスタート、1月1日は主の日です。礼拝の場でイエス様にお会いし、神を見上げ心を高く上げて、神に新たな力をいただきましょう。そのようにして再び、それぞれの働きへと出て行きましょう。

主イエス・キリストの恵みと平安が、豊かにありますように！！